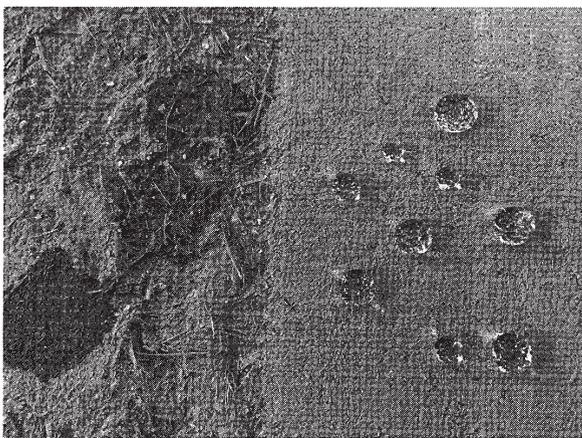
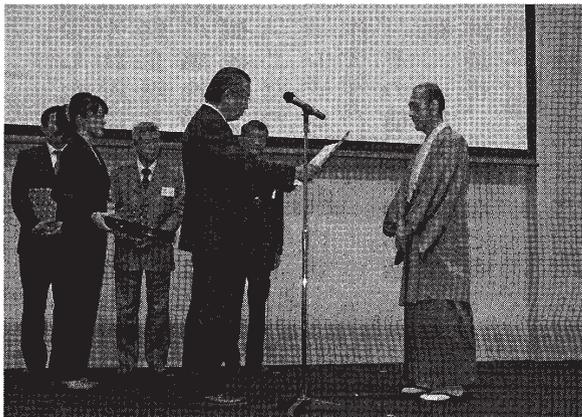


# 撥水加工を使った土壁保存に期待 「知恵創出“目の輝き”企業」認定 パールトーン

地方独立行政法人京都市産業技術研究所



は、同研究所の技術支援等に加え、「伝統産業と先端産業の融合」や「新たな気づき」といった知恵産業をキーワードにした新技術・新商品の開発等により製品化・事業化に至った取り組みのうち、知恵産業の推進に大きく

寄与した取り組みを行った企業・団体を「知恵創出『目の輝き』」企業として認定している。

その「第2回『目の輝き』成果発表会」が4日に、京都リサーチパーク（KRP）バズホールで行われ、「独自

技術の活用による伝統建築物保全に向けた新規事業展開」でパールトーンが認定された。今回の認定された同社の技術は、撥水加工の技術を活用し、伝統建築工法である土壁のウイークポイントである水の侵入に対する脆弱

性を克服するとともに、その特徴的な機能である調湿機能を損なうことがない欠落防止剤及びその施行方法を確立し、建築分野における市場を獲得している。市内の数少ない著名な左官店の協力を得て、著名な旅館をはじめ、茶室や史跡での採用など着実に市場獲得を推進。さらに、近年特に増加しているゲリラ豪雨の発生など異常気象に対する事前の備えとして、神社・仏閣のみならず、京都市内に5万戸現存する京町家の保全修理等にも活用出来ることから、当該技術のニーズはさらに拡大が見込まれると期待されている。

「3年ほど前から、性

今回の事業を推進させてきた。弊社がこの事業に着手したのは、日本の伝統建築（土壁等）の保護と延命に尽力すること、そして貴重な文化遺産（文化の足跡）を後世に残したいという思いから。そういう分野で弊社のパールトーンの撥水加工

技術が活かせるということに大変喜びを感じている。左官屋さんをはじめ、弊社と同研究所の研究スタッフの協力があつて開発、展開出来るようになったものと関係者に感謝している」（同社）としている。